

## 研究課題名「胎盤早期剥離の病態解明および発症予知マーカーの確立に向けての研究」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

- ① 2009年1月1日から2016年12月31日までに、名古屋大学医学部附属病院産科婦人科において診療をうけ、「妊娠高血圧症候群の病態解明と早期診断法の確立」（承認番号 648）に参加していただいた方
- ② 2005年1月1日から2014年12月31日までに、名古屋大学医学部附属病院産科婦人科において、妊娠、出産に関して診療をうけた方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

発症すると児の脳性まひや母体の危機的出血などをきたし、母児ともに予後不良な転帰となる胎盤早期剥離は、発症予測が困難な疾患です。本疾患の病態解明およびその発症予知マーカーの確立することにより、発症予測により発症前に介入することは発症予防が期待されます。これまで、甲状腺自己抗体や潜在的な甲状腺機能異常症とその発症に関与する報告がありますが、それらを中心に病態解明およびその発症予知マーカーの確立を目指します。そのために、これまで発症した方たちやそうでない方たちの試料、情報（次項目研究に用いる試料、情報の種類を参照ください）を用いまして、甲状腺機能や甲状腺自己抗体を中心に網羅的解析も行ってまいります。

研究期間は以下を予定しております。

実施承認日～ 2020年 3月 31日

研究組織：

研究責任者（所属・職名・氏名）

名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻発育・加齢医学・産婦人科学・准教授・小谷友美

研究分担者（所属・職名・氏名）

名古屋大学医学部附属病院産科婦人科・助教・今井健史

名古屋大学医学部附属病院産科婦人科・助教・中野知子

名古屋大学医学部附属病院産科婦人科・病院助教・牛田貴文

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ① 2009年1月1日から2016年12月31日までに、名古屋大学医学部附属病院産科婦人科において診療をうけ、「妊娠高血圧症候群の病態解明と早期診断法の確立」（承認番号 648）に参加していただいた方：

・試料（血液）

・情報（カルテ番号、病歴、年齢、経妊回数、経産回数、妊娠の方法、母体合併症、胎数、胎位、分娩様式、分娩週数、出生体重、胎盤早期剥離の有無、妊娠高血圧症候群などの他の周産期合併症の有無、甲状腺機能検査や甲状腺自己抗体などの結果、胎児数、出生時 Apgar score など）

② 2005年1月1日から2014年12月31日までに、名古屋大学医学部附属病院産科婦人科において、妊娠、出産に関して診療を受けた方

・情報（カルテ番号、病歴、年齢、経妊回数、経産回数、妊娠の方法、母体合併症、胎数、胎位、分娩様式、分娩週数、出生体重、胎盤早期剥離の有無、妊娠高血圧症候群などの他の周産期合併症の有無、甲状腺機能検査や甲状腺自己抗体などの結果、胎児数、出生時 Apgar score など）

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

下記の研究責任者までお願いします。

名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学 准教授

小谷友美

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話：052-744-2261(直通) ファックス：052-744-2268